

事業所名

とんがりパルレ 吹田教室

支援プログラム

作成日

2026 年

8 月

1 日

法人（事業所）理念		身近な地域において専門職による専門的な発達評価や療育、支援が受けられる場所を新たに創り出し、地域福祉の一層の充実を図ります。		
支援方針		お子さんの居場所づくりのみではなく、専門職によるアセスメントを実施し、個別支援計画に基づいて一人ひとりの発達段階や特性に応じ、自立した生活スキルの獲得、言語・社会性の発達の促進、集団生活への適応を促します。		
営業時間		火、木、水、金、土 9時00分～18時00分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	来所時に検温を実施します。手指消毒を促し、感染症の予防に努めます。 活動する空間・時間は一人ひとりの特性に配慮し、構造化して本人に分かりやすく伝えます。 また必要に応じておやつ等を用いて咀嚼の改善・獲得を促します。		
	運動・感覚	安定した姿勢で座れるよう、使用する椅子や一人ひとりに合った補助具を調整・工夫しながら活用します。 また、握る・つまむ動作を粘土遊びやパズル・ボードゲームでの遊びを通して促します。 筆記用具についても補助具等工夫をします。		
	認知・行動	特性や発達段階に応じ、活動内容や活動時間・場所を写真や絵カード・文字を活用して伝えます。 適切な行動の見本を大人が見せながら声かけし、場面に沿った行動を促します。 また、パズルやブロック・制作遊び・絵本等様々な感覚を使った遊びを通し、大小・色などの概念の形成を促します。		
	言語 コミュニケーション	個々の特性や発達段階に合わせ、絵カードや絵本・ごっこ遊び・ボードゲームを活用して言葉の理解・表出を促します。 遊びのやりとりの中で、相手の注目しているものや意図への気づきを促し、場面にふさわしいコミュニケーションがとれるよう支援します。 必要に応じ、言葉だけではなく身振り・絵カード・ICT機器等のコミュニケーション方法も積極的に取り入れます。 またことばの発達の段階に応じて発音の練習にも取り組みます。		
	人間関係 社会性	一人ひとりの認知・感覚特性や発達段階に合わせ遊びを選択して支援します。 大人との1対1のやりとり・遊びの中で、挨拶や相手への関わり方・約束やルールを理解・その他ソーシャルスキルの獲得を促し、集団参加につなげます。		
家族支援		お子さんが在籍する学校・園、また日常生活での困りごとなどについて相談を伺い、必要な情報提供やその対応についてアドバイスや提案を行います。 また、ごきょうだいについてのご相談にも対応していきます。	移行支援	園や学校でお子さんの様子をお伺いし、当事業所での関わり方の工夫などをお伝えし、園や学校でできる工夫について先生方と連携しながら一緒に考えていきます。保護者の方のご希望がある場合はお子さんのアセスメントや療育のまとめを行い、園や学校と積極的に共有します。
地域支援・地域連携		必要に応じて学校、園、その他関係機関との会議の場を設け、情報の共有、相談援助などを行います。	職員の質の向上	毎日スタッフミーティングを実施し、効果的な支援について話し合っています。また定期的に症例報告会を実施し、支援内容を共有し、どの職員も一定以上の支援ができるよう努めています。 年2回の虐待防止研修も実施しています。外部研修や学会にも積極的に参加し、研鑽を積んでいます。
主な行事等		避難訓練、就学相談会、人権週間の取り組み等		